

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

2019(平成 31/令和元)年度 理事総会(第 1 回理事会)

2019(平成 31)年 4 月 19 日(金) 15:00~17:00

盛岡白百合学園中学高等学校 マリアンホール

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1	2018(平成 30)年度事業報告ならびに決算報告
	(1)	2018(平成 30)年度役員 2
	(2)	事業報告 3
	(3)	決算報告
	ア	一般会計 7
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 8
	ウ	事業費会計② 新人大会 9
	エ	事業費会計③ 講習会 10
	2	2019(平成 31/令和元)年度役員(非改選期) 11
	3	2019(平成 31/令和元)年度事業計画ならびに予算
	(1)	事業計画 13
	(2)	予算
	ア	一般会計 19
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 20
	ウ	事業費会計② 新人大会 21
	エ	事業費会計③ 講習会 22
	4	NHK 杯県大会要項(6 月 3 日・4 日開催) 23
	5	アナウンス朗読講習会要項(7 月 6 日開催) 23
	6	放送講習会要項(9 月 22 日開催) 23
	7	その他 23
連絡	1	2020(令和 2)年度以降の予定 24
	2	放送専門部の連絡方法 25
	3	その他 26
閉会		
資料		岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 27
		2019(平成 31/令和元)年度第 1 回県高文連理事会資料 (省略)
		2018(平成 30)年度高文連紀要・大会結果 (省略)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2019/bod20190419.pdf>

協議 1 2018(平成 30)年度事業報告ならびに決算報告

(1) 2018(平成 30)年度役員 (理事校 26 校, 報告事項)

専門部長 盛岡白百合学園中学高等学校長 荻原禮子
副専門部長 岩手県立盛岡第二高等学校長 菅原尚志
専門部代表理事 盛岡白百合学園中学高等学校 成田奈穂 (事務局長・東北高文連放送部会理事)
専門部理事

岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平・芳賀範文・谷藤さなえ	2032～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	松尾洋平(監事)・加藤美津子	2020～21 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志・大内寿文	2022～23 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	榎本拓	2038～39 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	安藤剛・安藤泰彦	2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	川崎博子	2024～25 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	金子剛・高館信子	2026～27 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	堤友理江・金井保憲	
岩手県立盛岡工業高等学校	館下正彦・玉山明	2028～29 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	澤田英樹・立花久美子・元木達也・舟山晋・谷崎勝広	2030～31 年度事務局校
紫波総合高等学校	鈴木勇二(盛岡支部理事・前東北大会事務局)	
盛岡市立高等学校	伊藤晃	2034～35 年度事務局校
岩手中・高等学校	松田満(監事・NHK 杯運営委員)・堀江崇子	前事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	工藤さゆり・遠山恵美	事務局校
岩手県立花巻北高等学校	濱田隼也	
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広(花巻支部理事)	
岩手県立花北青雲高等学校	久保田懐	
岩手県立黒沢尻北高等学校	晴山翔太郎(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	内藤勉(奥州支部理事)・及川悠	
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子(一関支部理事)・鈴木博子	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)	
岩手県立釜石高等学校	細川正一(釜石支部理事)	
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・畠山多香子	
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当※)・和山真也	
岩手県立久慈高等学校	浅沼淳子(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	曾我範晃(二戸支部理事)・大地友紀	

(※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北アナ朗事務局)

オブザーバー

NHK 学園高等学校(杜陵協力校) 岩渕早秋・中野洋一

(2) 事業報告 (2018(平成30)年度第3回理事会で2月までを報告済)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	13	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	17	火	理事総会・第1回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
5	11	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	22	火	第70回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会(盛岡第一・盛岡第三・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
6	4 5	月 火	第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (23校・284名・188エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
7	2 3	月 火	第18回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (9校・23名・14エントリー)	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	7 8	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	14	土	アナウンス朗読講習会 (11校・38名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	23 26	月 木	第65回NHK杯全国高校放送コンテスト (11校・78名・25エントリー)	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	26	木	Nコン番組制作セミナー (7校・51名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	26	木	第23回NIE全国大会 司会 (盛岡第二・盛岡白百合)	マリオス	協力事業 日本新聞協会
7	28	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (3校・9名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	30	月	短歌甲子園アナウンス講習会 (3校・24名)	プラザおでって	盛岡支部協力事業 盛岡市
8	4	土	交通安全テレビCM制作講習会2 (6校・44名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	8	水	高文連全国放送専門部理事会	メモリー(長野県岡谷市)	全国高文連
8	9 10	木 金	第42回全国高等学校総合文化祭(長野大会) 放送部門(8校・23名・10エントリー)	カノラホール(長野県岡谷市)	全国高文連
8	17 19	金 日	第13回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡南・盛岡白百合15名)	姫神ホール・盛岡劇場	盛岡支部協力事業 盛岡市
9	6	木	第2回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
9	16	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (17校・114名, うち県外3校11名)	盛岡第二高校	放送専門部
9	19	水	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	多賀城市文化センター	東北高文連
10	5	金	第41回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会: 黒沢尻北)	さくらホール (黒沢尻工業高校主管)	県高文連 (北上支部主管)
10	6	土	第71回岩手芸術祭総合フェスティバル (アシスタント: 盛岡第一・武蔵未侑)	県民会館	協力事業 岩手県
10	8	月	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー (17校・144名)	県民会館他	放送専門部
10	31	水	いわて教育の日のつどい 司会(盛岡第一・武蔵未侑)	県民会館	協力事業 岩手県
11	2	金	第14回高校生交通安全テレビCMコンテスト (8校・49名)	キャラホール	協力事業 岩手県
11	5	月	第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第36回岩手県高等学校放送新人大会 (18校・177名・143エントリー)	県民会館	放送専門部
11	24	土	セミナーサポート事業④番組講習会 (11校・69名)	県民会館	放送専門部
11	29 30	木 金	全国高等学校文化連盟研究大会 (岩手・松田満)	熊本市	全国高文連
12	23	日	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (14校・51名)	県民会館	放送専門部
12	26 27	水 木	校内放送指導者講座 (4名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	1	金	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	9 10	土 日	第22回東北高等学校放送コンテスト (13校・67名・36エントリー)	多賀城市文化センター	東北高文連
2	14	木	第3回理事会・会計監査	盛岡白百合学園高校	放送専門部
3	22 23	金 土	番組講習会 (10校・77名)	盛岡市勤労福祉会館 県民会館	盛岡支部
3	23	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連・NHK
3	24 25	日 月	北海道高文連放送専門部放送技術講習会 (盛岡第一派遣)	定山溪ホテル	北海道高文連

ア 大会事業

県大会はいずれも第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催。全結果は放送専門部のウェブサイト参照。

- ① **第65回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会** 6月4日(月)-5日 プラザおでつて
 - ・NHK 杯全国大会(2018(平成30)年7月)の予選として実施。

- ② **第36回岩手県高等学校放送新人大会** 11月5日(月) 県民会館
 - ・東北高等学校放送コンテスト(宮城大会, 2019(平成31)年2月)ならびに第43回全国高等学校総合文化祭放送部門(佐賀大会, 2019(令和元)年7-8月)の予選として実施。
 - ・第43回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。
アナウンス部門…盛岡白百合(2)松館七瀬, 盛岡第一(2)鎌田花華, 花巻農業(2)佐藤純江
朗読部門…黒沢尻北(2)豊泉花, 花巻北(2)釜本慎ノ輔, 盛岡第一(1)西森菜々花
オーディオピクチャー部門…盛岡白百合
ビデオメッセージ部門…花巻農業, 岩手

- ③ **上位大会**
 - ・**第18回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト** 7月2日(月)-3日(火) 安比高原
岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
 - ・**第65回 NHK 杯全国高校放送コンテスト** 7月23日(月)-26日(木) NHK ホール他
5部門で入賞6, 決勝進出1(ラジオドキュメント優秀賞盛岡第一)
 - ・**第42回全国高等学校総合文化祭放送部門** 8月9日(木)-10日(金) カノラホール(岡谷)
入賞無し
 - ・**第22回東北高等学校放送コンテスト** 2月9日(土)-10日(日)多賀城市文化センター
優秀賞3など入賞15は2016年2月の秋田大会に並ぶ過去最高数

イ 講習会事業

セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施。

- ① **放送専門部・盛岡支部主催**
 - ・**アナウンス朗読講習会** 7月14日(土) NHK 盛岡放送局
上原康樹アナ・羽隅将一アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導。
 - ・**放送講習会** 9月16日(日) 盛岡第二高校
千葉県立船橋高等学校放送委員会 香取宏先生・山本麻友香さん・益子夏実さん・浅野大和さん・清水駿介さん(2年)を招聘。
午前の講座は盛岡白百合と青森明の星高校放送部 松原善幸 先生・對馬葵さん(3年)・伊藤史恩さん(3年)・澤田真菜さん(2年)・工藤瑞姫さん(1年)による実践発表。
 - ・**メディアコミュニケーションセミナー** 10月8日(月) 県民会館・テレビ岩手
畑中美耶子(パネット), 河辺邦博・高橋典子(IBC 岩手放送), 中野圭(テレビ岩手)各氏による部門別の講習。

- ・ **番組講習会** 11月24日(土) 県民会館
中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導。
- ・ **アナウンス朗読講習会** 12月23日(日) 県民会館
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。アシスタントとしてOBも参加。
- ・ **番組講習会** 3月22日(金)-23日(土) 盛岡市勤労福祉会館・県民会館, 盛岡支部主催
井手広法氏による指導。アシスタントとしてOBも参加。

② 上位大会関連・協力事業関連

- ・ **高総体開会式司会** 5月22日(火) 運動公園…盛岡第一・盛岡第三・盛岡白百合
- ・ **IAT 純情応援歌** 5-7月
- ・ **Nコン番組制作セミナー** 7月26日(木) 東京 NHK ふれあいホール
NHK杯全国大会後に東京で実施。NHKのスタッフによる指導。盛岡第一・岩手・花巻北・花巻農業・黒沢尻北・宮古・宮古工業(発表校)の7校51名参加。
- ・ **第14回高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会**
7月28日(土)・8月4日(土), 11月2日(金) キャラホール
岩手県ほか主催, IBC岩手放送によるCM制作についての指導。講習会は2回同内容 IBCで開催, 計12校84名参加。大会はキャラホール
- ・ **第13回全国高校生短歌大会司会・講習会**
7月30日(土), 8月17日(金)-19(日) 盛岡劇場他
畑中美耶子氏による指導。盛岡第一・盛岡南・盛岡白百合の3校12名が担当。
- ・ **高総文祭開会式司会** 10月5日(金) さくらホール…黒沢尻北
- ・ **岩手芸術祭開幕フェスティバル** 10月6日(土) 県民会館…盛岡第一・武蔵未侑
- ・ **いわて教育の日のつどい司会** 10月31日(水) 県民会館…盛岡第一・武蔵未侑
- ・ **高校生ラジオCMコンクール** 12~1月 IBC岩手放送他
盛岡第三(1位・3位)・宮古(2位)など7本参加

ウ 研修事業

① 第41回校内放送指導者講座(12/26-27, 千代田放送会館)

2名派遣, 合計4名が参加。この講座への参加者は累計35名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっている。

② 生徒派遣

アナウンス・朗読で次年度の全国総文代表に1年生が選ばれた場合に検討するもの。盛岡第一1年西森菜々花と引率1名について, 平成31年3月の北海道高文連放送技術講習会(定山溪)への派遣補助(10万円)を実施。派遣実施は, 平成24年度の盛岡第二, 平成26年度の盛岡第一, 平成27年度の盛岡白百合, 昨年度の盛岡白百合に続いて5回め。

エ その他

① 部員数調査

第2回理事会で報告

② 県高文連表彰

第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し、表彰を受賞した。

連盟賞(生徒表彰)…2017(平成29)年9月1日～2018(平成30)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

- ・ **盛岡第一高校放送委員会** 第65回NHK杯全国高校放送コンテストラジオドキュメント部門優秀賞
- ・ **宮古高校放送部** 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門優良賞

功労賞(教職員表彰)…2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日に退職した教職員で、専門部長経験者、専門部の事務局長(代表理事)を3年以上担当した方、指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方、指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方。

- ・ **金子剛 先生**(不来方高等学校でご退職) 2015 総文朗読優秀賞(菊池諒), 2017NHK杯朗読優良賞(佐藤玲香)など、指導者として全国入賞多数
- ・ **松尾聡 先生**(盛岡白百合学園中学高等学校をご退職) 2016 総文アナ優秀賞(奥山あかり)・2017 総文アナ特別賞(奥山あかり)など、指導者として全国入賞多数

(3) 決算報告

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	115,554	115,554	0	
B 登録料	200,000	190,000	-10,000	1校あたり 10,000
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	165,000	159,000	-6,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	145,000	120,000	-25,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	310,000	279,000	-31,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	426,667	426,667	0	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	0	NHK杯
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯80,000・新人大会90,000
D-05 研修費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計	776,667	776,667	0	
E 雑収入	779	4	-777	利息
合計	1,403,000	1,361,225	-41,777	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	30,000	10,000	0	東北高文連放送部会費10,000・東北県参加料20,000(返金20,000)
A-02 事務費	1,000	80	920	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	45,000	32,305	12,695	第3回理事会等
運営費小計	76,000	42,385	13,615	
B 事業費				
B-01 NHK杯県大会	380,000	262,235	117,765	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	360,000	364,810	-4,810	事業予算・決算別途
B-03 講習会	455,000	436,272	18,728	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	12,000	166,440	-154,440	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,207,000	1,229,757	-22,757	
C 予備費	120,000	0	120,000	
総計	1,403,000	1,272,142	110,858	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,361,225 - 1,272,142 = 89,083

監査の結果、適正と認めます。

平成31年4月19日

監査

松田 満

監査

松尾 洋平

- ・2018(平成30)年度第3回理事会の中間報告後の出納は、利息2円の収入と東北大会県参加料の返金20,000円のみ。
- ・登録料について、被災校の免除(4校40,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は20,000円の減。
- ・収入決算額の前年度決算額との増減は75,838円の減、支出決算額の前年度決算額との増減は49,367円の減。
- ・繰越89,083円は、予算額の6.3%である。

イ 事業費会計① NHK 杯県大会 (2018(平成 30)年度第 2 回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	165,000	159,000	-6,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	63,235	-16,765	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	0	-50,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	45,000	0	-45,000	一般会計収B
合計	380,000	262,235	-117,765	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	44,260	740	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	44,260	20,740	
B 旅費				
B-01 県大会関係	50,000	41,245	8,755	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	154,000	46,180	107,820	担当者会議(・全国大会運営委員)
旅費小計	204,000	87,425	116,575	
C 需用費				
C-01 食糧費	75,000	73,128	1,872	審査員・係
C-02 資料費	10,000	5,182	4,818	事務用品
需用費小計	85,000	78,310	6,690	
D 役務費	1,000	340	660	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	25,000	51,900	-26,900	上位大会被災校参加料
総計	380,000	262,235	117,765	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 262,235 - 262,235 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成30年9月6日

監査 松田 満

監査 松尾 洋平

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて 9,000 円減少した。
- ・被災校の参加料免除(4校 28 エントリー, 28,000 円)をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて 47,061 円減少した(支 B-02 運営委員派遣旅費が不要だったため)。
- ・被災校の東北アナウンス朗読コンテスト参加料 3 名 9,900 円を予備費から支出した。
- ・被災校の NHK 全国高校放送コンテスト全国大会参加料 42,000 円を予備費から支出した。

ウ 事業費会計② 新人大会 (2018(平成30)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	145,000	120,000	-25,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	90,000	106,765	16,765	一般会計収D-04
4 研修費	50,000	50,000	0	一般会計収D-05
5 一般会計より	35,000	48,045	13,045	一般会計収B
合計	360,000	364,810	4,810	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	80,000	89,096	-9,096	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	51,240	-1,240	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	140,336	-10,336	
B 旅費				
B-01 県大会関係	50,000	39,445	10,555	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	93,000	108,110	-15,110	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	143,000	147,555	-4,555	
C 需用費				
C-01 食糧費	40,000	36,175	3,825	審査員・係
C-02 資料費	5,000	320	4,680	事務用品
需用費小計	45,000	36,495	8,505	
D 役務費	2,000	3,100	-1,100	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	37,324	2,676	上位大会被災校参加料・手数料不足分
総計	360,000	364,810	-4,810	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 364,810 - 364,810 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成31年2月14日 監査 松田 満
監査 松尾 洋平

- ・参加料の決算額は前年度決算額と比べて31,000円減少した。
- ・被災校の参加料免除(3校23エントリー-23,000円)をおこなった。
- ・被災校の上位大会参加料(全国高総文祭放送部門1校2,000円、東北高等学校放送コンテスト3校7エントリー-35,000円)と東北大会県勢バス代振込手数料の不足分(324円)を予備費から支出した。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて113,954円増加した(前年度東北大会が岩手開催で東北理事会旅費が不要だったため、前年度は高文連全国放送専門部理事が代表校で派遣旅費が不要だったため)。

エ 事業費会計③ 講習会 (2018(平成30)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 セミナーサポート費	426,667	426,667	0	一般会計収D-02
2 強化費		9,605	9,605	一般会計収D-03
3 専門部補助			0	一般会計収D-04
4 研修費	20,000		-20,000	一般会計収D-05
5 一般会計より	8,333		-8,333	一般会計収B
合計	455,000	436,272	-18,728	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	135,000	133,644	1,356	講師謝礼@20,000/日
B 旅費				
B-01 講師旅費	190,000	200,610	-10,610	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	90,000	58,800	31,200	高文連旅費規程による定額
旅費小計	280,000	259,410	20,590	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	35,000	43,218	-8,218	講師・役員
C-05 消耗品費			0	
需用費小計	35,000	43,218	-8,218	
D 役務費				
D-01 郵便料金	1,000		1,000	
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費	2,000		2,000	
D-04 振込手数料	2,000		2,000	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	5,000	0	5,000	
E 使用料・貸借料				
E-01 会場費			0	
E-02 機器使用料			0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	
F 予備費			0	
総計	455,000	436,272	18,728	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 436,272 -436,272 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成31年2月14日 監査 松田 満
監査 松尾 洋平

・事業ごとの支出額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(7/15)	4,320 円	-540 円
② 放送講習会(9/16)	232,796 円	-41,028 円
③ メディアコミュニケーションセミナー(10/8)	100,738 円	-123 円
④ 番組講習会(11/24)	24,434 円	-96 円
⑤ アナウンス朗読講習会(12/23)	73,984 円	0 円
合計	436,272 円	-41,787 円

協議 2 2019(平成 31/令和元)年度役員 (非改選期, 理事校 26 校, 出席者に下線)

専門部長 盛岡白百合学園中学高等学校長 浅沼千明
 副専門部長 岩手県立盛岡第二高等学校長 菅原尚志
 専門部代表理事 盛岡白百合学園中学高等学校 成田奈穂 (事務局長・東北高文連放送部会理事)

専門部理事

岩手県立盛岡第一高等学校	<u>細川純平</u>		2032～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	<u>松尾洋平</u>	(監事)	2020～21 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	<u>高橋篤志</u>		2022～23 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	<u>佐藤満</u>		2038～39 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	<u>藤澤昌聡</u>		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	<u>川崎博子</u>		2024～25 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	<u>金子剛</u>		2026～27 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	藤村あおい		
岩手県立盛岡工業高等学校	<u>館下正彦</u>		2028～29 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	<u>村守文枝</u>		2030～31 年度事務局校
紫波総合高等学校	<u>鈴木勇二</u>	(盛岡支部理事)	
盛岡市立高等学校	<u>伊藤晃</u>		2034～35 年度事務局校
岩手中・高等学校	<u>松田満</u>	(監事・NHK 杯運営委員)	前事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	<u>菅原浩</u> ・ <u>遠山恵美</u>		事務局校
岩手県立花巻北高等学校	<u>濱田隼也</u>		
岩手県立花巻農業高等学校	<u>濱谷伸広</u>	(花巻支部理事)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	<u>晴山翔太郎</u>	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	内藤勉	(奥州支部理事)	
岩手県立一関工業高等学校	<u>佐々木亜紀子</u>	(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	<u>菊田光哉</u>	(気仙支部理事)	
岩手県立釜石高等学校	<u>細川正一</u>	(釜石支部理事)	
岩手県立宮古高等学校	<u>島山多香子</u>	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古工業高等学校	<u>菊地達哉</u>	(上位大会担当※)	
岩手県立久慈高等学校	門ノ澤祐見子	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	石坂みづえ	(二戸支部理事)	(出席は <u>大地友紀</u>)
NHK 学園高等学校(杜陵協力校)	<u>中野洋一</u>		

(※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北アナ朗事務局)

- ・専門理事は理事校の顧問 1 名を原則とした。
- ・前年度オブザーバーの NHK 学園を理事校とした。
- ・花北青雲を理事校から削除した。

参考：理事校顧問一覧

岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平・芳賀範文・谷藤さなえ
岩手県立盛岡第二高等学校	松尾洋平
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志
岩手県立盛岡第四高等学校	佐藤満・徳田卓仁
岩手県立盛岡北高等学校	藤澤昌聡・安藤剛
岩手県立盛岡南高等学校	川崎博子
岩手県立不来方高等学校	金子剛・高館信子・澤田清美
岩手県立杜陵高等学校定時制	藤村あおい・小野寺裕子・相馬忠秋
岩手県立盛岡工業高等学校	館下正彦・玉山明
岩手県立盛岡商業高等学校	村守文枝・澤田英樹・日下強・千葉伊織・谷崎勝広
紫波総合高等学校	鈴木勇二
盛岡市立高等学校	伊藤晃・シーラカーター
岩手中・高等学校	松田満・小泉美智代
盛岡白百合学園中学高等学校	成田奈穂・菅原浩・遠山恵美
岩手県立花巻北高等学校	濱田隼也
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広
岩手県立黒沢尻北高等学校	晴山翔太郎・高橋啓
岩手県立岩谷堂高等学校	内藤勉・武田宏行・千葉睦美
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子・小幡直子
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉
岩手県立釜石高等学校	細川正一・小林晃・藤原奨
岩手県立宮古高等学校	畠山多香子・菊地奈樹
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉・大鳥冬樹
岩手県立久慈高等学校	門ノ澤祐見子
岩手県立福岡高等学校	石坂みづえ
NHK 学園高等学校(杜陵協力校)	中野洋一・岩渕早秋

協議 3 2019(平成 31/令和元)年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画(2018(平成 30)年度第 2 回理事会までに承認済)

- ・規約第5条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成する。
- ・以下の日程原則により，次ページのとおり会場を確保している。
- ・日程原則と異なるものは，以下の~~取消線~~の箇所)。
- ・9月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議する(NHK 杯県大会は協議 4，アナウンス朗読講習会は協議 5，放送講習会は協議 6)。10月以降のものは第 2 回理事会で協議する。
- ・昨年度までの要項等は，放送専門部のウェブサイトに掲載している。

日程原則

- ・第 1 回理事会(理事総会)…4 月中・下旬
- ・NHK 杯県大会(県民会館)…6 月第 2 週の月曜・火曜(高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会(NHK 盛岡局，全国大会出場者対象)…7 月中旬(2019 年は 7 月 6 日，NHK 盛岡局との協議により決定)
- ・第 2 回理事会…9 月上旬
- ・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)…9 月 3 連休(以上)の中日(県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)…体育の日の翌々日の水曜(高総文祭開会式後，新人大会決勝との曜日の一致)
- ・新人大会(県民会館)…11 月第 2 週の火曜・水曜(運動部の新人大会後・考査前)
- ・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館，東北大会出場者対象)…勤労感謝の日の週の~~平日~~ (2019 年は土曜日，TVI との協議により決定)
- ・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館，東北大会出場者対象)…12 月第 4 ~~日曜~~ (2019 年は第 4 土曜日)
- ・第 3 回理事会…2 月中旬

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	12	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	19	金	理事総会・第1回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
5	10	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	21	火	第71回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会	運動公園	協力事業 県高体連
6	3 4	月 火	第42回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第66回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
7	1 2	月 火	第19回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	6	土	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	6 7	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	22 25	月 木	第66回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	25	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
7	30	火	高文連全国放送専門部理事会	基山町民会館(佐賀県基山町)	全国高文連
7 8	31 1	水 木	第43回全国高等学校総合文化祭(佐賀大会)放送部門	基山町民会館(佐賀県基山町)	全国高文連
9	6	金	第2回理事会	盛岡白百合学園高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(郡山市)	東北高文連
9	22	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	4	金	第42回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	一関市(一関第二高校主管)	県高文連 (一関支部主管)
10	9	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	5 6	火 水	第42回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第37回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	20	水	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	21	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	木 金	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	1 2	土 日	第23回東北高等学校放送コンテスト	ユラックス熱海(福島県郡山市)	東北高文連
2	7	金	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	14	金	第3回理事会・会計監査	盛岡白百合学園高校	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡市)	盛岡支部
3	21	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	甲南大学岡本キャンパス	全放連・NHK

- ・原則と異なる日程は、7月アナ朗講習会、11月番組講習会、12月アナ朗講習会。
- ・9月の放送講習会の県外からの招聘は、北海道帯広三条高校の安藤佳寿哉先生と生徒。

ア 大会事業

① 主催大会(放送コンテスト県大会, 放送新人大会)

- ・いずれも第 42 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会, ならびに上位大会の県予選として開催する。上位大会出場を前提としてエントリーすること。
- ・大会は, 2 日日程を原則とし, エントリー数によっては 1 日開催とする。参加申込み締切は, 大会 3 週間前を原則とする。
- ・参加料は, 1 エントリー当たり 1,000 円。参加料の免除については, 被災校・被災者に対して当面継続する。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし, 大会の案内文書に記載する。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合, 上位大会の参加料は, 放送専門部の会計から支出する。

② 上位大会 (担当: 宮古工業・菊地達哉)

- ・ **第 19 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(安比) 7/1-2 主管事業**
<http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
夏の全国大会アナ朗代表対象。
- ・ **第 66 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/22-25**
http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/ NHK 杯県大会の上位大会。
全国大会運営部に宮古工業・菊地達哉, 運営委員に岩手・松田満を岩手県から推薦。
全国大会についての詳細は 6/4 の代表校打合せにて説明する。
参加料はアナ朗 5,000 円, 番組 8,000 円, 研究発表 4,000 円。
運営関係(2018(平成 30)年度第 2 回理事会で連絡済)
 - ・ 2020 年 3 月担当者会議は神戸で開催。2020 年 7 月の提出物チェック等は東京で開催。
 - ・ 2020(平成 32)年 67 回大会について…8/1-2 が高知で全国総文祭, 8/2-5 が神戸で NHK 杯となる。高知神戸間の移動, 神戸の宿泊確保については, NHK 杯事務局で県単位の申込みができるように準備をすすめている。岩手としては, **参加校個別の移動・宿泊確保では無く, NHK 杯事務局斡旋方式に申込み予定である。**

・第 43 回全国高等学校総合文化祭放送部門(佐賀県基山町) 7/31-8/1

<http://www.miyagi-soubun.jp/> 前年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

- ・アナウンス部門…盛岡白百合(3)松館七瀬, 盛岡第一(3)鎌田花華, 花巻農業(3)佐藤純江
- ・朗読部門…黒沢尻北(3)豊泉花, 花巻北(3)釜本慎ノ輔, 盛岡第一(2)西森菜々花
- ・オーディオピクチャー部門…盛岡白百合, ビデオメッセージ部門…花巻農業, 岩手

準備日程

- ・4/26(金)正午 部門別参加票・作品・書類等一式集約(郵送等)→宮古工業・菊地達哉
- 表彰**…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出, 総合成績1位の都道府県に文部科学大臣賞・2位に文化庁長官賞を授与する
- ・佐賀大会のグループ(ブロック) 時間は去年のブロックのもの
- アナウンス部門: ブロック E(岩手・岐阜・石川・福井・奈良・佐賀) 8/1・12:40?
朗読部門: ブロック D(岩手・秋田・埼玉・石川・京都・佐賀) 7/31・13:35?
AP 部門: C/D(岩手・茨城・静岡・岡山・高知・宮崎 / 宮城・新潟・長野・愛知・滋賀・大阪) 7/31・11:40?
VM 部門: ブロック C(岩手・茨城・静岡・岡山・高知・宮崎) 7/31・12:40?

運営関係(2018(平成30)年度第2回理事会で連絡済)

- ・2019年度(佐賀大会)以降, AP は静止画を別に提出する方式から, 音声+静止画の番組パッケージとして提出・再生する方式に改める。
- ・2019年度(佐賀大会)も, 番組データは youtube 経由の提出を原則とする。
- ・岩手として提案してきた, ブロック内3位までのうち従来の優秀賞・特別賞該当以外を優良賞とするなどの表彰の改定は否決。ただし表彰と審査のありかたについては今後も検討する。
- ・2018年度は大会最終日のうちにブロック内6位までの順位と総合順位2位までを公表した。
- ・2020年度(高知大会)については, 最終日が NHK 杯(神戸・西宮)の受付日にあたることから, 1日めにアナ朗, 2日めを VM・AP とすることを岩手として提案した。

・第 23 回東北高等学校放送コンテスト(福島県 郡山ユラックス熱海)2020(令和2)年2/1-2

- ・担当: 盛岡白百合学園高校・成田奈穂
- ・今年度の新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「かがやき」

・第 44 回全国高等学校総合文化祭放送部門(高知県)

- ・高知県香南市 のいちふれあいセンター・夜須中央公民館マリンホール 2020(令和2)年8/1-2
- ・今年度の新人大会の上位大会。

イ 講習会事業

① 主催講習会…いずれの講習会も、セミナーサポート事業として開催する。参加料は無料。

参加申込み締切は、開催2週間前を原則とする。

・アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局) 7/6(土) →協議5

NHK杯全国大会のアナウンス部門・朗読部門代表対象

・放送講習会(県民会館) 9/22(日) →協議6

・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/9(水)

TVI・IBCなどの専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習

・番組講習会(県民会館) 11/20(水) 東北大会代表対象

・アナウンス朗読講習会(県民会館) 12/21(土) 東北大会アナ朗代表対象

・番組講習会 3月下旬 盛岡支部主催

② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト、メーリングリスト等で周知。

・Nコン番組制作セミナー、交通安全テレビCMコンテスト講習会、短歌甲子園司会講習会他

ウ 研修事業

予算の執行状況をみて、校内放送指導者講座(12/26-27, 東京)への派遣と参加補助, 他県の研修会・講習会等への生徒の派遣補助を検討する。他県の行事については、メーリングリストで周知する。

エ その他

- ① **部員数調査**…5月に実施し、メーリングリストと第2回理事会で報告。→連絡3(2)
- ② **協力事業(県内諸団体からの協力要請によるもの)**…県高総体総合開会式, 県高総文祭総合開会式, いわて教育の日記念行事, 県内諸団体の依頼(IAT 純情応援歌, 交通安全テレビCM コンテスト, 短歌甲子園)等について協力する。このうち, 交通安全テレビCM コンテストと短歌甲子園の担当は, 紫波総合高校・鈴木勇二先生。
県高総文祭総合開会式の担当支部は次のとおり。
- ・2019(平成31/令和元)年度一関支部(一関第二高校主管)
 - ・2020(令和2)年度盛岡支部(盛岡大学附属高校主管)
 - ・2021(令和3)年度釜石支部(釜石高校主管)
 - ・2022(令和4)年度宮古支部
 - ・2023(令和5)年度盛岡支部
 - ・2024(令和6)年度二戸支部
 - ・2025(令和7)年度気仙支部
 - ・2026(令和8)年度盛岡支部?
- ③ **高文連表彰**…県高文連表彰規程により次に該当するものを推薦する。第2回理事会で報告。
- ・**連盟賞(生徒表彰)**…2018(平成30)年9月1日(昨年度の全国高総文祭を除く)～2019(令和元)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
 - ・**功労賞(教職員表彰)**…2018(平成30)年4月1日～2019(平成31)年3月31日に退職した教職員で, 専門部長経験者, 専門部の事務局長(代表理事)を3年以上担当した方, 指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦する。
 - ・荻原禮子 先生(盛岡白百合学園中学高等学校をご退職) 2018 専門部長

(2) 予算

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	89,083	115,554	115,554	-26,471	
B 登録料	200,000	200,000	190,000	0	1校あたり10,000
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	160,000	165,000	159,000	-5,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	120,000	145,000	120,000	-25,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	280,000	310,000	279,000	-30,000	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	426,667	426,667	3,333	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	NHK杯
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯80,000・新人大会90,000
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計	780,000	776,667	776,667	3,333	
E 雑収入	917	779	4	138	利息
合計	1,350,000	1,403,000	1,361,225	-53,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	30,000	30,000	10,000	0	東北高文連放送部会費・東北県参加料
A-02 事務費	1,000	1,000	80	0	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	45,000	32,305	-5,000	第3回理事会等
運営費小計	71,000	76,000	42,385	-5,000	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	360,000	380,000	262,235	-20,000	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	390,000	360,000	364,810	30,000	事業予算・決算別途
B-03 講習会	430,000	455,000	436,272	-25,000	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	9,000	12,000	166,440	-3,000	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,189,000	1,207,000	1,229,757	-18,000	
C 予備費	90,000	120,000	0	-30,000	
総計	1,350,000	1,403,000	1,272,142	-53,000	

イ 事業費会計① NHK 杯県大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	160,000	165,000	159,000	-5,000	一般会計収C-01
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	80,000	63,235	0	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	50,000	0	0	一般会計収D-03
5 一般会計より	30,000	45,000	0	-15,000	一般会計収B
合計	360,000	380,000	262,235	-20,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	45,000	44,260	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	65,000	44,260	0	
B 旅費					
B-01 県大会関係	45,000	50,000	41,245	-5,000	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	154,000	154,000	46,180	0	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	199,000	204,000	87,425	-5,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	55,000	75,000	73,128	-20,000	審査員・係
C-02 資料費	10,000	10,000	5,182	0	事務用品
需用費小計	65,000	85,000	78,310	-20,000	
D 役務費	1,000	1,000	340	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	30,000	25,000	51,900	5,000	上位大会被災校参加料
総計	360,000	380,000	262,235	-20,000	

ウ 事業費会計② 新人大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	120,000	145,000	120,000	-25,000	一般会計収C-02
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	90,000	90,000	106,765	0	一般会計収D-04
4 研修費	50,000	50,000	50,000	0	一般会計収D-05
5 一般会計より	90,000	30,000	48,045	55,000	一般会計収B
合計	390,000	360,000	364,810	30,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	89,096	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	50,000	51,240	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	130,000	140,336	0	
B 旅費					
B-01 県大会関係	40,000	50,000	39,445	-10,000	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	132,000	93,000	108,110	39,000	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	172,000	143,000	147,555	29,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	40,000	40,000	36,175	0	審査員・係
C-02 資料費	5,000	5,000	320	0	事務用品
需用費小計	45,000	45,000	36,495	0	
D 役務費	3,000	2,000	3,100	1,000	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	40,000	37,324	0	上位大会被災校参加料
総計	390,000	360,000	364,810	30,000	

エ 事業費会計③ 講習会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	430,000	426,667	426,667	3,333	一般会計収D-02
2 強化費			9,605	0	一般会計収D-03
3 専門部補助				0	一般会計収D-04
4 研修費		20,000		-20,000	一般会計収D-05
5 一般会計より		8,333		-8,333	一般会計収B
合計	430,000	455,000	436,272	-25,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費	135,000	135,000	133,644		講師謝礼@20,000/日
B 旅費					
B-01 講師旅費	175,000	190,000	200,610	-15,000	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	70,000	90,000	58,800	-20,000	高文連規定による定額
旅費小計	245,000	280,000	259,410	-35,000	
C 需用費					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	45,000	35,000	43,218	10,000	講師・役員
C-05 消耗品費				0	
需用費小計	45,000	40,000	43,218	10,000	
D 役務費					
D-01 郵便料金	1,000	1,000	0	0	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費	2,000	2,000	0	0	
D-04 振込手数料	2,000	2,000	0	0	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	5,000	5,000	0	0	
E 使用料・貸借料					
E-01 会場費				0	
E-02 機器使用料				0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	0	
F 予備費				0	
総計	430,000	455,000	436,272	-25,000	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

昨年度決算額比

①アナウンス朗読講習会(7月)	5,000円	680円増
②放送講習会(9月)	210,000円	22,796円減
③メディアコミュニケーションセミナー(10月)	110,000円	9,262円増
④番組講習会(11月)	30,000円	5,566円増
⑤アナウンス朗読講習会(12月)	75,000円	1,016円増
合計	430,000円	6,272円減

協議 4 NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

協議 5 アナウンス朗読講習会要項

(省略 6/4 に NHK 杯全国大会アナ朗代表校に配付 概要は次のとおり)

1. 日時 2019(令和元)年7月6日(土)13:00～15:00
2. 会場 NHK 盛岡放送局 盛岡市上田 4-1-3 電話 019-626-8811
3. 対象 NHK 杯全国大会のアナウンス部門・朗読部門に参加する生徒ならびに顧問。聴講参加不可。
4. 持参するもの アナウンスまたは朗読原稿(様式は NHK 杯と同じ) 2部
5. 講師 NHK 盛岡放送局のアナウンサー
6. 参加料 無料
7. 申込み 6/4 の代表校打合せで関係校に文書を配付します。
8. その他 旅費等については、当部会では負担いたしません。あらかじめご了承ください。

協議 6 放送講習会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

協議 7 その他

(協議題無し)

連絡 1 2020(令和2)年度以降の予定

(1) 2020(令和2)年度の日程 (2018(平成30)年度第3回理事会で連絡済)

協議3(1)の日程原則により、次のとおり会場予約の申請中。原則と異なるのは次の行事。

- ・9月の放送講習会は、9/19-22の四連休の三日め。
- ・10月メディアコミュニケーションセミナーと11月新人大会は、県民会館の都合で月火日程。
- ・12月アナ朗講習会は、12/23(水)。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中・下旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
6	8 9	月 火	第43回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第67回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	4 5	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	31	金	高文連全国放送専門部理事会	(高知県)	全国高文連
8	1 2	土 日	第44回全国高等学校総合文化祭(高知大会)放送部門	のいちふれあいセンター・夜 須中央公民館マリンホール	全国高文連
8	2 5	日 水	第67回NHK杯全国高校放送コンテスト	兵庫県立芸術文化セン ター(決勝)・甲南大学岡本 キャンパス(準決勝まで)	全放連・NHK
8	5	木	Nコン番組制作セミナー?		全放連・NHK
9	上旬		第2回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(山形市)	東北高文連
9	21	月	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	13	火	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
10	9	金	第43回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館 (盛岡大学附属高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
11	9 10	月 火	第43回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第38回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	24	火	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	水	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	上旬		第24回東北高等学校放送コンテスト	(山形市)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第二高校	放送専門部
3	19 20	金 土	番組講習会	県民会館	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

(2) 2020年度以降の上位大会 (2018(平成30)年度第2回理事会で連絡済)

ア NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・2020年67回大会 8月5日(水) 兵庫県
準々決勝・準決勝: 神戸学院大学(神戸市), 決勝: 兵庫県立芸術文化センター(西宮市)
- ・2021年68回大会 日時未定, NHKホール使用不可(大規模改修工事)

イ 全国高等学校総合文化祭

- ・2020(平成32)年44回大会 高知県 8月1日(土)-2日(日)
のいちふれあいセンター・夜須中央公民館マリンホール
- ・2021年45回大会 和歌山県
- ・2022年46回大会 東京都
- ・2023年47回大会 鹿児島県
- ・2024年48回大会 東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)のいずれかの県
- ・2025年49回大会 四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)のいずれかの県
- ・2026年50回大会 北海道東北ブロックのいずれかの県

ウ 東北高等学校放送コンテスト…秋田から時計回りを原則とする。

- ・2020年度24回大会 山形県
- ・2021年度25回大会 秋田県
- ・2022年度26回大会 青森県
- ・2023年度27回大会 岩手県
- ・2024年度28回大会 宮城県
- ・2025年度29回大会 福島県

連絡2 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会の手続きは、原則としてすべてメールやウェブです。

(3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトにデータを掲載しダウンロードできるようにします。また、公立高校へは GWW でも送信します。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

連絡3 その他

(1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、県高文連旅費規程により、専門部が負担します。
- ・旅費の算出は、各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地、通勤経路との関係、私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい、理事会出席の報告時に、交通費(運賃・車賃)・現地経費をお知らせください。
- ・近隣の学校での乗りあわせなど、経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

(2) 部員数調査について

- ・事業計画(行事への参加数、補助員依頼等)の基礎資料として、部員数等の調査をおこないます。5月8日(水)までに回答をお願いします。集約結果はメーリングリストと第2回理事会で報告します。

(3) 高文連理事会(4/12 サンセール盛岡)報告

- ・全国総文祭(佐賀)の県高文連の生徒旅費補助は8,000円×上限3泊+行動費20,000円の予定。

(4) その他

- ・高総体総合開会式司会について…5/21(火)運動公園、盛岡支部の学校から4名を事務局で推薦
- ・第11回青空文庫朗読コンテスト岩手予選(6/1(土))について…資料当日配付
<https://www.roudokukentei.jp/aozora/>
- ・第2回外郎売りコンテスト11/9(土))について…資料当日配付
http://katsu-zetsu.com/?page_id=4073&preview=true
- ・このあと全国総文代表校顧問の打合せ

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、奥州、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、講習会、研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名

(3) 専門部代表理事(事務局長) 1名

(4) 専門部理事 若干名

(5) 支部理事 各支部1名(10名)

(6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

(1) 事務局長(専門部代表理事) 1名

(2) 庶務担当 若干名

(3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
 - ① 事業報告および決算
 - ② 事業計画および予算
 - ③ 役員を選出
 - ④ 規約の改定
 - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
 - ① 理事総会から委嘱された事項
 - ② 細則の改定
 - ③ 加盟団体から提案された事項
 - ④ その他必要な事項

第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

第5章 会計

第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

役員選出に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

- 事務局は、2年交代の輪番制とする。
- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
 - 3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。

別表1 役員案作成に関する事項

- 専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。
- 副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。
- 専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。
- 専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。
- 監事 前事務局校と次期事務局校とする。
- 備考 専門部長について2018(平成30)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、盛岡白百合学園中学高等学校長。

別表2 事務局の輪番に関する事項

- | | | |
|----|---------|-------------|
| 1 | 盛岡白百合学園 | 1996～1997年度 |
| 2 | 盛岡第二 | (インターハイ式典) |
| 3 | 盛岡第三 | 1998～1999年度 |
| 4 | 盛岡南 | 2000～2001年度 |
| 5 | 不来方 | 2002～2003年度 |
| 6 | 盛岡工業 | 2004～2005年度 |
| 7 | 盛岡商業 | 2006～2007年度 |
| 8 | 盛岡第一 | 2008～2009年度 |
| 9 | 盛岡市立 | 2010～2011年度 |
| 10 | 盛岡北 | 2012～2013年度 |
| 11 | 盛岡第四 | 2014～2015年度 |
| 12 | 岩手 | 2016～2017年度 |
- (12番の次は1番に戻る)

備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

②輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

- 2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。
- 3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支

給する。

- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、2,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給するものとし、その額は、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、10,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月21日から施行する。

- 3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 5 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(補足)

- ※1 1日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数
- ※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

岩手県高等学校文化連盟表彰規程(参考資料)

第1条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

第2条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

- 1 生徒について
 - (1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。
 - (2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。
- 2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。
- 3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

第3条(推薦の条件)

- 1 生徒について
 - (1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。
 - (2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。
 - (3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。
 - (4) 推薦対象の期間は、前年度9月1日より翌年の8月31日までの一年間を原則とする。
- 2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

- (1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟会長

- (2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟参与、理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに10回以上出品・出演させたものを対象とする。

オ 専門部代表理事を3年以上経験したもの。

第4条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

- 1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。
- 2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。
- 3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

第5条(表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。
- 2 表彰状及び記念品を贈る。

第6条(専門部の表彰)

- 1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。
- 2 表彰の名称等は次の型とする。
 - (1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選
 - (2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選
 - (3) 1位 2位 3位

付則

- 1 この規程は、昭和 62 年 9 月 9 日から施行する。
- 2 この規程は、平成 12 年 4 月 18 日から施行する。
- 3 この規程は、平成 24 年 4 月 13 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。